

今秋発刊予定「筆山の麓 土佐中高100年人物伝」

10月10日発売



「百周年という大きな節目の年にあたって、母校の建設と発展に身をささげた偉大な教育者たちを偲び、学び舎を築立った教え子たちの活躍ふりを紹介して、先人の恩に報いるとともに、後に続く若者たちにエールを送る記念誌を刊行できないだろうか」と新聞部OBのA氏が一念発起されたのは二年前である。同窓生仲間への呼びかけに応え、企画に賛同する輪が広がって、黒澤明の「七人の侍」ではないが、刊行委員会が発足、ほぼ毎月のペースで編集会議を開いて、内容を練っていった（写真）。

今秋発刊予定の「筆山の麓 土佐中高100年人物伝」は、まず「校長編」で初代三根圓次郎と戦後の再建に尽くした三代大嶋光次の両先生を取り上げる。次の「卒業生編」では、すでに社会的な評価がある程度定まった昭和期の卒業生を紹介する。

卒業生紹介にあたっては、事典・記念誌・会報など各種資料を渉猟、関係各位から情報もいただき、多彩な分野でそれぞれ輝いている個性豊かな方々を三十二名、年次間のバランスも考慮しながら、刊行委員の合意で選んだ。更に、本編で紹介しきれなかった方々を一二名、寸評の形で「人物群像」編に掲載したほか、別途「政治家群像」も特集した。

本書の販売は「高知新聞総合印刷」社が担い、県内主要書店店頭に並ぶほか通販も扱う。ぜひ手に取ってお読みいただきたい。

有難いことに、在校生全員に本書を贈呈したいという同窓篤志家も現れた。将来ある若者たちが、本書に掲載できた人物に限らず、諸々の立派な先輩たちを道しるべに、人生の目標を定めてくれたら望外の喜びである。

「土佐中高100年人物伝」刊行委員会